

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 風構明備～サムハウス～

グループの名称 「武州」いい家研究会

直近採択グループ番号 04-0630-0270

(グループ代表者)

代表者名 坂村 聡 代表者印
代表者所属先 坂村建設株式会社
代表者所在地 東京都昭島市美堀町5-6-21
代表者電話番号 04-2545-0057

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社タカキ
事務局担当者名 時計 俊介 印
事務局郵便番号 207-0015
事務局所在地 東京都東大和市中央1-1-5
事務局電話番号 04-2566-2344
事務局FAX 04-2569-8212
事務局担当者E-mail tokie@takakigroup.net

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		32	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	32	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	8	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		18	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	18	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
申請が未確定(上限100万円)		5	戸				
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	2棟				
			300㎡				
		申請が未確定	2棟				
			300㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	各区分の実施枠内で、15日、月末の2回申込順に受付ける。 応募が枠を上回った場合は抽選とする。 申込の権利は請負契約が結ばれていること(分譲は確認済であること)						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	12戸	交付申請戸数	8戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8戸
	補正予算	採択戸数	10戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 風構明備～サムハウス～	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、埼玉県、神奈川県の一部
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「武州」いい家研究会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0630-0270	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
① 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	エネルギー消費量削減、寒暖差の激しい気候風土に立地する住宅であることから、断熱性能、遮熱性能を意識した家づくりを行う →Low-eガラスを開口部サッシに使用する 長寿命型住宅の場合は、耐震等級2以上とする→立川断層が当地区の一部に存在している	◎
② 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	関東及び地場の地域材活用のために、地域材使用率を50超とした在来軸組工法を採用する 都内23区内に比較して、所得水準は低めであり、契約価格の低位に抑えられた住宅が主流となっている 従って、ランニングコストを抑えるために、自然のエネルギーを利用した住宅が望ましいので、通風を考慮した家づくりを行う そのために「通風シミュレーション」による開口部設定を提案する	◎
③ 地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当該エリアは比較的広範囲に及び、新興住宅地、旧市街、田園風景と様々な様相を呈しているため、特定のデザインに特化することは難しいため、各工務店、設計事務所、デザイン事務所が地域の特長を活かした家づくりを行うこととする	○
④ ①～③の背景	寒暖差の激しい内陸型気候に立地するため、断熱性、遮熱性を重視した家づくりを志向する 地域内には景観に優れた溪流や山地も見られるため、自然エネルギーを利用した風向計画のシミュレーションを行うことが、経済性の面からも必要と感じる。これまで、大きな地震発生の経験はないが、立川断層も近いことから耐震性に考慮した家づくりを行う(長寿命型においては、耐震強度2以上とする)	○
⑤ その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	都内23区内に比較して敷地に余裕がある場合が多いので、切り妻型の屋根形状を採用し、太陽光パネルの搭載を推奨する (新築時に搭載しなくても、あとで搭載できる基本計画を作成しておく) I世帯当たりの自家用車保有台数も、23区内に比較すると多いため、将来の電気自動車の普及を考慮して、駐車スペースへの電気コンセントの設置を新築時に提案する	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「技術向上委員会」にて長寿命型、高度省エネ型とも標準仕様書を作成し寸法規格化や断熱材等建材の統一化をはかる	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 現在は複数の木材建材流通業者が、施工事業者と合同のグループを構成しているため対象製品や仕入価格の統一を図る段階には至っていない	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: サッシLow-Eペアガラス、サッシ枠樹脂複合サッシ以上を採用する 断熱材は熱伝導率0.043以下の断熱材を使用する(屋根、壁、床)	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「技術向上委員会」を施工事業者と流通業者の代表が委員となり開催し、地域材の調達計画、構造材の木拾い、断熱材の使用量を自動計算する仕組みを構築している	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅技術的審査申請や認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅に関する諸計算と申請に関する事務作業は、事務局が積極的に支援、指導に当たっている	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2012年にグループにて維持管理、劣化対策に関する型式認定を取得し仕様の統一化、施工合理化を行っている (認定番号BL-A維専0010-12号、BL-A劣化0009-12号)	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで取り決めた「現場チェックリスト」に基づいて自主検査を行う施工現場写真の撮影力所をルール化して工事記録を作成保存し、メンテナンスにも役立つ	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の積算書を使用し、事務局が保管する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅、風構明備～サムハウス～の仕様、メリットを記載したパンフレットを長寿命型、高度省エネ型ともに作成し施工向けPRを行う現場見学会、プレカット工場見学会を開催し、地域材使用による自然環境への貢献を説明する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループのロゴマーク、現場見学会用のぼり旗の作成、販売促進用パンフレットの作成、耐震博覧会出展、ホームページ作成などで知名度向上活動を行ってきた 今後はタウン誌、信用金庫情報誌、ケーブルテレビへの情報提供により地域での認知度を高めて行く	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 風構明備～サムハウス～	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、埼玉県、神奈川県の一部
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「武州」いい家研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0630-0270	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書等の重要書類はデータ化して第三者機関の住宅履歴情報サービスに保管する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たに住宅履歴情報サービスに加入する場合は「プロバティオン」に加盟することを推奨し、事務局がパスワード、IDを把握することで、当該工務店が廃業等の場合に備える	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
	② メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理委員会」で作成した「住まいのお手入れハンドブック」で住まい手に自主管理を行って頂くと共に、「維持管理計画書」に基づく定期点検記録を保管する	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理計画書」に従って点検記録をWEB上に保管する	◎
	③ 住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理委員会」の勉強会にて作成した「住まいの点検マニュアル」を施主に説明し自主点検を推奨する	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム相談会を複数の施工店共済で、メーカーショールームを利用して春夏、秋冬の年2回開催している 案内チラシは共同で企画しイベント費用も各社で分担している	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 「維持管理委員会」が共通の維持管理計画書、使用状況のチェックを行う	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: リフォーム相談会で長期優良化リフォーム、三世帯同居型リフォームを紹介し劣化対策、維持管理対策を奨励し、リフォームローンの加盟登録者となる手順を紹介している	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 廃業や倒産した場合でもすぐ対応できるようにWEB管理化を推進する設計図書、維持管理履歴野保管データを活用する	○
②	過去の取組内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーや流通業者が主催するセミナーで瑕疵担保責任に関する法令の改定について学ぶ機会を設けている	○
その他	引渡時に維持管理計画を説明し年度毎に必要な経費を説明する 地元信用金庫と提携して毎月の積立を実施する仕組みを構築する	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術向上委員会が長寿命型、高度省エネ型についての技術講習会を開催している 一次エネルギー計算、外皮計算等の積算や申請業務は要望により事務局が行っている	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理、劣化対策は型式認定どおりの施工がなされているか技術向上委員会が施工写真により確認する	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場施工記録は、共通フォーマットに定められた方向から撮影した現場写真により確認作業を行う	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット仕様情報により、使用地域材の必要数を2カ月以上前に把握し必要在庫を保管する	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大工職不足が顕著となり、大工職育成の会一般社団法人東京大工塾を立ち上げた	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅等高度省エネ対応では、グループ共通の太陽光システム、断熱材、サッシ等の採用で合理化を図っていく	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 40 今年度の参加目標人数 10 前年度は、講習修了者のいない施工事業者は0となった。今年度は1社複数名の受講者をふやして行く	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10 請負技能者自らが、断熱工事の正しい手順を学ぶことが不可欠であり、日程の告知を確実にし受講者数を増員させて行く	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 東京、埼玉での技術講習会日程を必ず告知する	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○
その他	住宅版BELSIによる一次エネルギー消費量計算を必須とし普及促進に努める	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 風構明備～サムハウス～	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、埼玉県、神奈川県の一部												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「武州」いい家研究会	(結成年) 2012年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0630-0270													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】														
a	地域材利用に関する	◎、○ 記入欄												
①	共通 ルール(必須)	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎												
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に関 する補足説明	◎												
<p>「合法木材供給事業者認定制度」を受けた構成員からの流通を経た地域材を50%超使用する。</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>下記のルートに従って、主要構造材の50%超を地域材を使用して家づくりを行う</p> <table border="1"> <tr> <th>原木産地</th> <th>製材業者</th> <th>土台、柱、梁・桁</th> </tr> <tr> <td>八溝地区</td> <td>丸川木材、二宮木材 宮の郷木材事業協同組合 中国木材</td> <td>スギ、スギ集成 ヒノキ、ヒノキ集成</td> </tr> <tr> <td>三陸地区</td> <td>三陸木材高次加工</td> <td>カラマツ、カラマツ集成</td> </tr> <tr> <td>北海道地区</td> <td>二和木材</td> <td></td> </tr> </table> <p>全ての事業者は、合法木材事業者認定証を取得している</p> <p>プレカット工場 もしくは 手刻み</p> <p>木材・建材流通業者</p> <p>出荷 証明</p> <p>施工現場</p> <p>直送の場合あり</p>			原木産地	製材業者	土台、柱、梁・桁	八溝地区	丸川木材、二宮木材 宮の郷木材事業協同組合 中国木材	スギ、スギ集成 ヒノキ、ヒノキ集成	三陸地区	三陸木材高次加工	カラマツ、カラマツ集成	北海道地区	二和木材	
原木産地	製材業者	土台、柱、梁・桁												
八溝地区	丸川木材、二宮木材 宮の郷木材事業協同組合 中国木材	スギ、スギ集成 ヒノキ、ヒノキ集成												
三陸地区	三陸木材高次加工	カラマツ、カラマツ集成												
北海道地区	二和木材													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○												
①-2 地域材価格の共有の仕組	○													
② グループ全体における地 域材の需給予測	○													
c	①-1 畳の活用	○												
①-2 和瓦の活用	○													
①-3 襖の活用	○													
①-4 障子の活用	○													
②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	○													
②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	○													
d	① 地域の伝統的なデザイン を継承する取組	○												
② 地域の住まい方の継承に つながる取組	○													
③ 地域の街並み形成へ寄与 する取組	○													
④ 和の住まいの要素を取入 れた取組	○													
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	特になし	○												
カ. その他														
【平成29年度対応方針】														
東日本大震災の復興に資する取組	丸川木材(茨城県桜川市)、二宮木材(栃木県那須塩原市)、三陸木材高次加工協同組合(岩手県気仙郡)などの被災地材の利用を積極的に行う事で引き続き復興支援活動の一助としている	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当なし	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 風構明備～サムハウス～	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、埼玉県、神奈川県の一部
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「武州」いい家研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0630-0270	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

特徴(一例)

- ①外皮平均熱貫流率は5地域と6地域：0.55(mk)を下回ることを目標とする。
- ②サッシはLOW-Eペア硝子、熱貫流率2.33以下の商品を提案する。
- ③断熱材 天井：熱伝導率0.043以下 壁：熱伝導率0.043以下 床：熱伝導率0.043以下の物を提案しなるべく性能を上げる努力をする。
- ④高効率給湯機はJIS効率2.7以上の商品を提案する。
- ⑤照明器具はLEDを極力提案する。
- ⑥換気は第3種換気の場合には非消費電力0.20w/(m3/h)以下を採用する。
- ⑦ゼロエネ住宅はBELS認証を取得する。
- ⑧一次エネルギー消費量等の評価結果は太陽光を除くエネルギー削減率Roは20%以上を目標とする。

啓蒙活動(一例)

- ①スマートウェルネス住宅等推進事業と連携し健康住宅や超高断熱化の取組を会で共有し性能の向上に努めて頂く。
- ②供給工務店による未供給工務店への勉強会、特に、どうやって顧客を創造したのかなどより実態の即した情報交換、情報集約などの活動を事務局中心で行う。
- ③地域材の特徴を把握し提案活動が出来る為に、山林ツアーを開催する。
- ④各種ロードマップ等で国の動向を理解し体験型施設を活用することで今後の営業活動に役立てる。